

特集

阪大トップ、関西勢が健闘 大学の地域貢献度調査 国立大上位に

10

2	片山善博の直言
4	ニュース & インサイド
7	霞が関 底流伏流 (スポーツ庁) 五輪まで続投する鈴木長官 健康増進の「メダル」まだ
8	藤原和博の教育談議 生徒が先生になる「よのなか科」
32	グローカルインタビュー 千葉県銚子市長 越川 信一氏
35	地域を変えるビッグデータ・IoT活用法 市嶋 洋平氏 部品工場で実践したIoT外販
36	フォーカス 非正規公務員の待遇
42	グローバルレポート 倉内 佳織氏 ニューヨーク市ダンボ地区に見る地域再生
44	キーパーソン 経済産業省ヘルスケア産業課長 西川 和見氏
46	新・奮闘地方議員 山梨県笛吹市議会議員 志村 直毅氏
48	自治体財政 改善のヒント 鈴木 文彦氏 失敗しない業務仕分けの着眼点
50	地域を磨き産業振興 小出 宗昭氏 お節介こそ起業支援の神髄

52	未来へつなぐ 子育て支援の現場から 小石 勝朗氏 東京都福生市・待機児童2年連続ゼロ
54	変わる介護保険 自治体の課題 浅川 澄一氏 「在宅重視」は薄れていく
56	議長に聞く 滋賀県大津市議会議員 仲野 弘子氏
57	ニュース・ウォッチング
62	Book Review/バックステージ

お断り 「大学、地域を拓く」は休みました。



〈表紙の写真〉地元特産のワインに関する教育・研究に注力する山梨大学

1947年発足の発酵研究所が前身の山梨大学ワイン科学研究センターは、山梨県の特産品、ワインの教育・研究の中核だ。ここで醸造されたワインは、防空壕でもあった地下貯蔵

庫で熟成研究のために保管され、「古いものは1952年まで遡る」(奥田徹・ワイン科学研究センター長)。

地域食物科学科ワイン科学特別コースの発酵実習では、奥田氏の指導

で、3年生10人が発酵させたワインから汲み取った上澄み部分の比重やアルコール濃度を測るほか、色や香り、粘性もチェックする(上の写真)。(文=可部 繁三郎、写真=遠藤 宏)